

教育班だより

9月号

気仙沼教育事務所HP <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mskyoz/>

【小・中学校教育の指導の重点】

- 重点1 感性豊かな心とたくましい心身の育成
- 重点2 確かな学力の育成
- 重点3 家庭・地域と連携・協働した
誰一人取り残さない学校づくりの推進

宮城県内でも猛暑日が続く予報があり、農作物などへの影響が心配されます。
そのような中、本事務所としても参加者の体調に留意しながら研修を行ってきました。
お陰様で8月までの研修を滞りなく終えることができ、ほっとしております。

研修会では、研修内容を授業づくりや生徒指導にどう生かしていけばよいかなど、
真剣に協議する場面が見られました。今月の花言葉は、「秋桜」を紹介しました。花
言葉は「謙虚」。参加者の研修での謙虚に学ぶ姿勢に、いつも感心しております。

副参事（副班長・指導主事）櫻井 直人

今月の花「秋桜」



花言葉「謙虚」

お知らせ 【9月・10月の教育事務所主催の行事、研修会等】

日にち	内 容	開催場所
9/9(火)	管内小・中学校校長会議③	気仙沼合同庁舎
9/16(火)	5年研教育事務所研修②・初任研（1年目）教育事務所研修②	大谷小学校、大谷中学校
9/18(木)	学校安全教育指導者研修会	気仙沼合同庁舎
9/26(金)	管内小・中学校教頭会議②	気仙沼合同庁舎
9/30(火)	ほっとする会②	気仙沼中央公民館
10/16(木)	幼稚園等新規採用教員地域別研修① 幼稚園等中堅教諭資質向上研修	中田幼稚園（登米）

6/16（月） 管内研究主任研修会

研修会では、所長による講話「研究主任に期待すること」や、指導主事による講義「研究の目的、研究を推進する上で大切にしたいこと」を行いました。その後、名足小学校の佐々木大堯先生から「組織的に取り組む校内研究」についての話題提供をいただきました。最後に「校内研究を組織的・計画的・継続的に推進するためには」というテーマで、4つのグループに分かれて研究協議を行いました。

参加者からは、「研究を推進する上で目的やねらい、捉えをしっかりと意識しておくことが必要だと改めて感じた。」といった声が聞かれました。また、校内研究の推進には、「職員全体でどのような子供たちを育てたいのか話し合い、共有することが大切だと思った。」

「風通しの良い環境づくりと、みんなの協力体制が重要で、若手だからベテランだからではなく、それぞれが歩み寄り、強みを発揮できると、研究が日常化するのではないかと思った。」という意見が出されました。さらに、「研究主任として何をすればよいかわからない状態だったが、前向きな気持ちが持てた。」といった感想も寄せられました。

一人一人が自校の校内研究の推進役として、目的意識や課題意識を持ち、主体的に研修に取り組んでいました。



算数チャレンジ大会2025 本選出場校を紹介します！

県内568チームが参加した「算数チャレンジ大会2025」の予選を見事勝ち抜き、気仙沼管内から3チームが本選に出場します。出場するのは、

気仙沼市立気仙沼小学校「算チャレチーム」

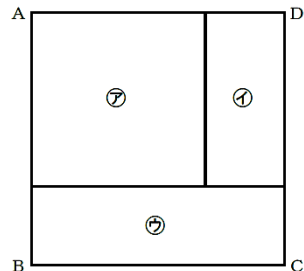
気仙沼市立九条小学校「ちーむぷっちょ」

南三陸町立戸倉小学校「7-7」

です。9月20日（土）に総合教育センターで行われる本選では、チームで協力し、思考力を駆使して問題に挑みます。これまでの成果を存分に発揮し、優勝を目指して頑張ってくださいと思います。皆さんの健闘を祈っています。

→子供たちがチャレンジした問題の一つを紹介します。

【予選問題4】下の図の四角形ABCDは正方形です。⑦の四角形が正方形になるように線を引いたところ、④の長方形の面積は55cm²、②の長方形の面積は80cm²になりました。正方形⑦の面積を求めなさい。（10点）



8/5（火） 初任研（2年目）教育事務所研修②

研修会では、5つのグループに分かれて、夏休み前に所属校で実施した実践授業についての発表と、2回目の実践授業に向けた指導案検討が、熱心に行われました。

参加者からは、以下のような感想が寄せられました。

- ・「発問の伝わり方や板書量について考えるきっかけになった。常に子供の反応を予想し、よりよい展開を考えていくことが重要だと学んだ。」
- ・「異校種の学習指導要領を読むことで、小・中へのつながりを知り、体系的に指導に生かすことができると学んだ。」
- ・「中間発表での振り返りと指導案検討を経て、協議したい部分について複数の方法を挙げてもらったことが、新たな気付きにつながった。」
- ・「活動の流れや単元目標、単元計画など、様々な視点から意見や助言をもらえて大変勉強になった。」

これらの感想から、今回の研修が次の授業実践につながる大変有意義な時間となったことがうかがえました。今後も研修で得た学びを、勤務校での教育実践に生かしていくことを期待しています。



8/19（火） 中堅教諭等資質向上研修 教育事務所研修②



受講者14名が3つのグループに分かれ、各学校で行う研究授業の指導案について検討しました。模擬授業では、発問や指示、板書のほか、ワークシート、タブレットで作成した資料を準備するなど、事前準備をしっかりと行い研修に臨んでいました。模擬授業後は、改善案を具体的に提案したり児童生徒役として感じたことを伝えたりして、よりよい授業になるよう積極的に話し合う姿が見られ、先生方にとっても学びが深まる時間になっていました。

受講した先生方から、「課題へ結び付ける導入部分、交流のさせ方は悩んでいる部分だったので、様々な意見をいただき再考してみたいと思った。」「自分の指導案、授業について意見をいただける機会は決して多くはありません。授業実践を行う前に、指導主事の先生をはじめ、多くの先生方からたくさんのご指導を頂けたことが大変うれしかった。」など、受講者同士の検討が役立ったという感想が寄せられました。

また、「しっかり準備をして行う授業は楽しいと改めて実感することができた。」という感想もあり、授業づくりの楽しさを改めて味わう時間にもなったようです。

検討した授業を各校で実践します。得られた学びを生かし子供たちに還元していくことを期待しています。

